



Arcserve Unified Data Protection 9.x

新機能/拡張機能のご紹介

2024 年 10月
Arcserve Japan



Rev 3.5

Arcserve UDP 9.x の特長



- ✓ セキュリティ・ランサムウェア対策強化
- ✓ 管理機能の拡充
- ✓ データベース バックアップの強化

Arcserve UDP 9.x 新機能/拡張機能のご紹介

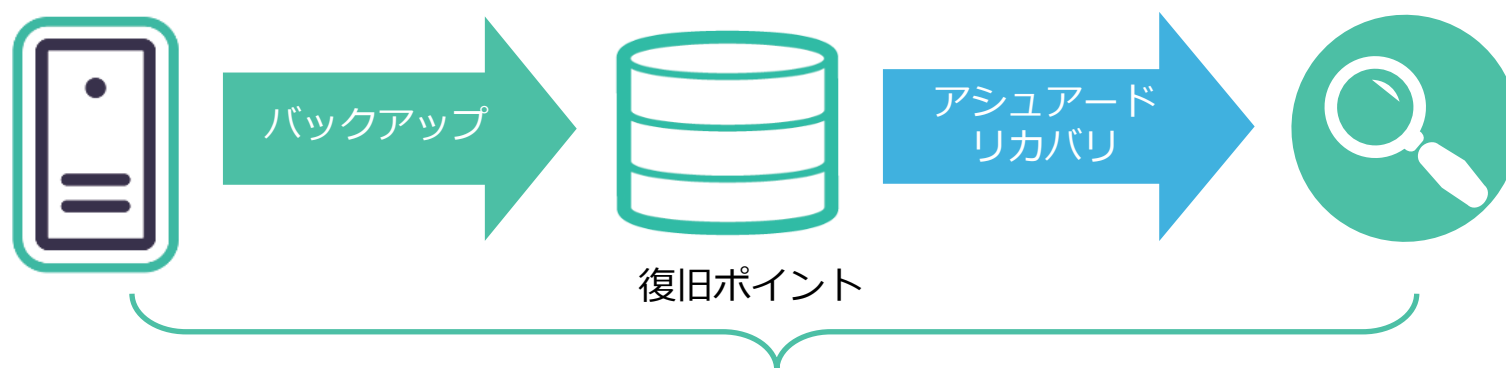


セキュリティ・ランサムウェア対策の強化

アシュアード リカバリ：バックアップ データ の健全性を自動確認



バックアップ データがリストア可能であることを手間をかけずに自動で確認
Arcserve UDP 9.0 からは標準機能として Advanced Edition で利用可能に



バックアップから確認処理の後始末までを全自動化

バックアップとレプリケート
後のデータを確認

手動、もしくは曜日・時間
を指定して実行

確認結果を
メールで通知

アシュアード リカバリ：復旧ポイントを確認する2つの方法



インスタントVM方式



インスタントVM

本番ネットワーク
とは分断して起動できる！
確認用ディスク スペース
は不要！

[確認できるポイント]

- システムが起動可能か？
- サービス実行が可能か？
- アプリケーション サービスの整合性は取れているか？
(カスタムスクリプトを利用)

[利用条件]

- インスタントVMの実行条件を満たす物理/仮想OSを含むバックアップ
- インスタントVMの仮想基盤は vSphere / Hyper-V / AHV (Linux VM のみ)

インスタント仮想ディスク方式



インスタント仮想ディスク

仮想環境不要！
確認用ディスク
スペースも不要！

[確認できるポイント]

- ファイル システムの整合性が取れているか？
- ディスクに破損はないか？
 - ✓ chkdsk による確認も可能
- 特定ファイルの読み出しが可能か？
(カスタムスクリプトを利用)

[利用条件]

- Windows のデータ ボリューム、共有フォルダ、Microsoft 365、Oracle RMAN のバックアップ

BitLocker で暗号化された VM を暗号化されたまま復旧



エージェントレス バックアップしたVMの、仮想化された TPM※（vTPM）の復旧が可能に

※ TPM…Trusted Platform Module – BitLocker や Windows Hello などで行われる、
暗号 USB メモリ キーや生体認証デバイスなどと連携するセキュリティ チップ

Before :



VM の復旧後に vTPM の設定を
しなければいけないので大変！

After :



暗号化されたまま VM を復旧！

以下でご利用可能です

- **VMware vSphere 環境**
 - 「VM の復旧」
- **Microsoft Hyper-V 環境**
 - 「VMの復旧」、仮想スタンバイ、インスタントVM

その他のセキュリティ向上



- ・ 電子メール アラートで Gmail または Microsoft 365 を使用する際、先進認証（OAuth 2.0）を使用可能に

電子メールの設定

サービス	Google メール		
電子メール サーバ	smtp.gmail.com	ポート	587
<input checked="" type="checkbox"/> 認証が必要			
認証タイプ	OAuth2		
クライアント ID			
クライアント シークレット			
件名	Arcserve Unified Data Protection アラート		

※設定の詳細はソリューションガイドの以下ページをご参照ください。

[Gmail のための OAuth 2.0 認証を設定する方法](#)

[Office 365/Outlook メールのための OAuth 2.0 認証を設定する方法](#)

- ・ ランサムウェア対策に使用する “隠しボリュームを使用した RPS データストア” ※ に対して整合性チェック機能 “as_gddmgr.exe” コマンドが利用可能に

※詳細は [「Arcserve UDP 8.x 新機能/拡張機能のご紹介」](#) をご参照ください。

Arcserve UDP 9.x 新機能/拡張機能のご紹介

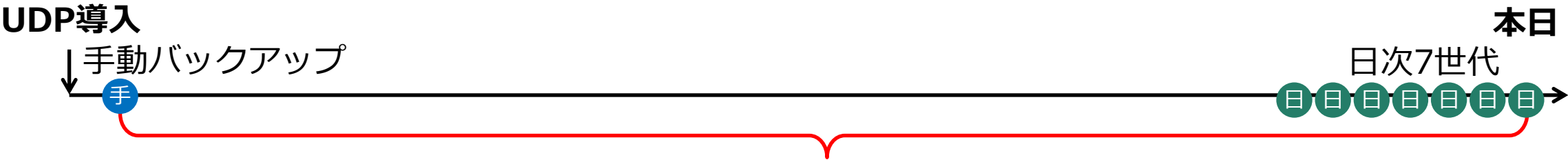


管理機能の拡充



手動ジョブによる復旧ポイントの残存(1) : Arcserve UDP 8.x 以前

【課題】 Arcserve UDP 導入時に動作確認などで手動バックアップを実施していると、
その復旧ポイントが運用に不要であったとしても残存してしまう



最初の手動フルを起点としたバックアップ データを維持
⇒運用に不要なバックアップ データが残存

バックアップ種別	復旧ポイント保持数 デフォルト
毎日	7
毎週	0
毎月	0
カスタム/手動	31

最小は 1
"0" にはできない

従来はこれを 1 にして、
定期的に手動バックアップすることで
運用に必要なバックアップのみを維持

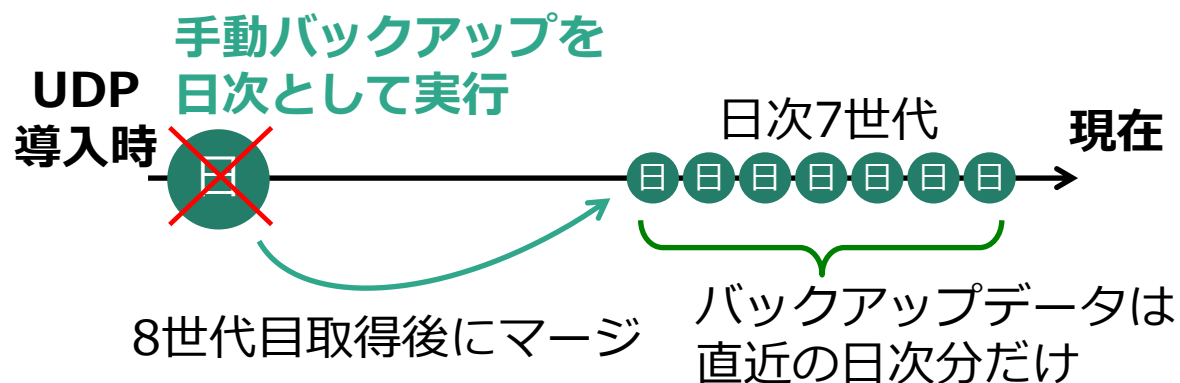
The diagram shows a horizontal timeline with three blue circles containing '手' (hand). The first two circles are crossed out with a red 'X'. The third circle is not crossed out. Green curved arrows point from the first two crossed-out circles to the third active circle. To the right of the active circle is a series of seven green circles, each containing a '日' (day), representing daily backups.

Arcserve UDP 9.0 以降では、この復旧ポイント残存を “回避”、“解消” することが可能に！

arcserve®

手動ジョブによる復旧ポイントの残存(2) : スケジュール タイプの指定

手動バックアップをスケジュール バックアップ扱いにすることで残存を“回避”



今すぐバックアップを実行

☒ 増分バックアップ
☐ 検証バックアップ
☐ フルバックアップ

バックアップ名: カスタマイズされた増分バックアップ

スケジュールタイプ: カスタム

ヘルプ

キャンセル

カスタム
 カスタム
 毎日
 毎週
 毎月

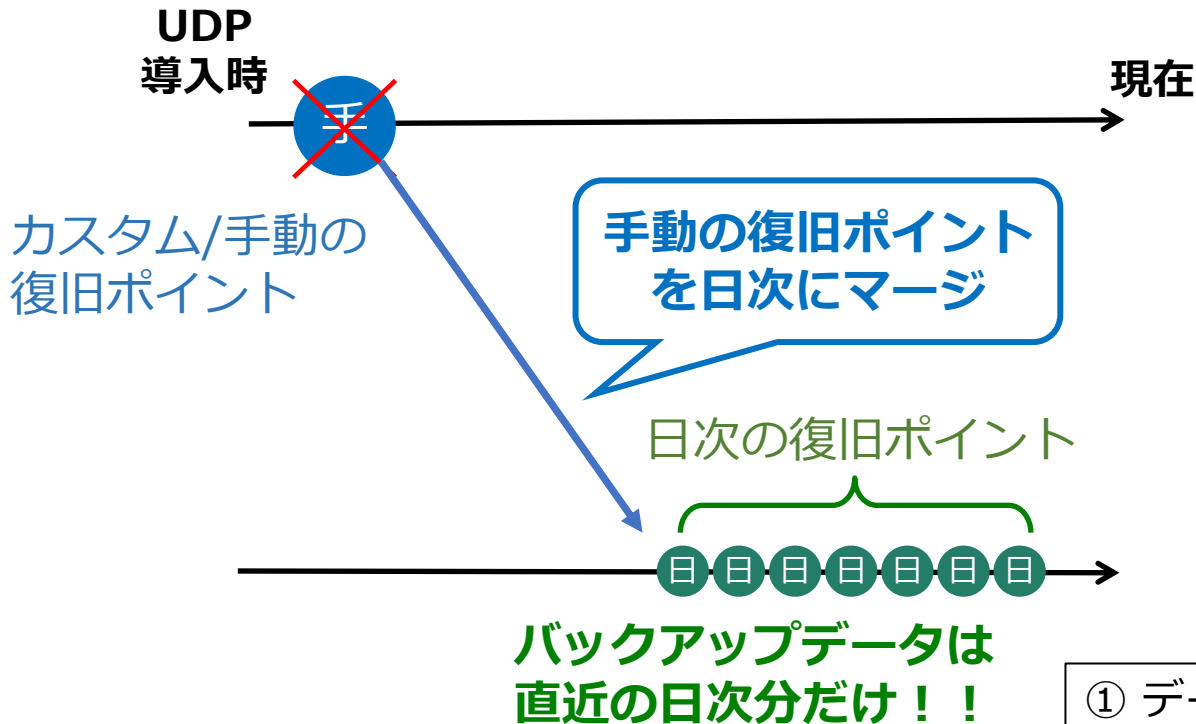
手動バックアップを
スケジュール扱いで実行



手動ジョブによる復旧ポイントの残存(3) : 復旧ポイントの整理

手動バックアップの復旧ポイント保存数を"0"でマージすることで残存を"解消"

※こちらは RPS 利用時のみの機能となります。



<ローカル サイト> デスティネーション: udp-svr.arcserve.jp > M-DS

復旧ポイント

サマリ

アクション

ノード名

プラン: ローカル サイト-新規のプラン

udp-svr

リフレッシュ
リストア
インスタント VM の作成
削除
今すぐマージ

今すぐマージを実行

ノード名	毎日	毎週	毎月	カスタム/手動
udp-svr	7	0	0	1

日単位の復旧ポイントの保存 7

週単位の復旧ポイントの保存 0

月単位の復旧ポイントの保存 0

カスタム/手動の復旧ポイントの保存 0

ヘルプ OK キャンセル

① データストア内に見えてくるノードに対して「今すぐマージ」

② カスタム/手動の復旧ポイントの保存数を "0" に指定可能

Arcserve UDP コンソール アクティビティログの全メッセージにIDが付与



トラブル シュートに活用可能

arcserve® UNIFIED DATA PROTECTION									
メッセージ (1) administrator ヘルプ									
ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定 ハイ アベイラビリティ									
重大度	すべて	ノード名	×	ジョブ ID	×	ジョブの種類	すべて	更新	リセット
時刻	すべて	生成元	×	メッセージ	×	メッセージ ID	×	エクスポート	削除
重大度	時刻	サイト名	ノード名	生成元	ジョブ ID	ジョブの種類	メッセージ ID	メッセージ	
!	2022/12/07 18:13:12	ローカル ...	udp-svr.arcserve.jp	udp-svr.arcserve.jp			20184	ネットワークアダプタ変更が検出されました: [Intel(R) 82574L Gigabit Network Connection #2] メディアが切断されました。	
!	2022/11/29 10:55:14	ローカル ...		udp-svr.arcserve.jp			80727	マルチ バックアップ ジョブ タスクのサブミット - 1 個のバックアップ ジョブがサブミットされました。1 個のバックアップ ジョブが正常にサブミットされました。	
!	2022/11/29 10:55:14	ローカル ...	udp-svr.arcserve.jp	udp-svr.arcserve.jp			80726	バックアップ ジョブのサブミット - Arcserve UDP エージェント バックアップ ジョブが正常にサブミットされました。	
!	2022/11/29 10:55:13	ローカル ...		udp-svr.arcserve.jp			80727	マルチ バックアップ ジョブ タスクのサブミット - 複数のバックアップ ジョブのサブミット タスクが開始しました。1 個のジョブがサブミットされます。	
!	2022/11/29 10:55:07	ローカル ...		udp-svr.arcserve.jp			80419	プラン“ローカル サイト-新規のプラン” が正常に作成されました。	
!	2022/11/29 10:55:07	ローカル ...	udp-svr.arcserve.jp	udp-svr.arcserve.jp				プラン“ローカル サイト-新規のプラン” をノード 'udp-svr.arcserve.jp' に対して展開して	
!	2022/11/29 10:55:07	ローカル ...	udp-svr.arcserve.jp	udp-svr.arcserve.jp					
!	2022/11/29 10:55:04	ローカル ...	udp-svr.arcserve.jp	udp-svr.arcserve.jp					
!	2022/11/29 10:54:55	ローカル ...	udp-svr.arcserve.jp	udp-svr.arcserve.jp					
!	2022/11/29 10:54:55	ローカル ...	udp-svr.arcserve.jp	udp-svr.arcserve.jp					
!	2022/11/29 10:53:24	ローカル ...	udp-svr.arcserve.jp	udp-svr.arcserve.jp					

Arcserve サポート ポータル
で ID を検索して情報収集

arcserve®

検索結果

すべて選択

Consolidated ...

ディスカッション 1

トピック

リストを折りたたむ

20147

新規登録

Consolidated Knowledge Types

2 件の結果・並び替え基準 関連 ▼

警告 ID : 20147 「ゲスト VM の認証情報が空です。そのため、ホストベース VM バックアップ は VM 内からスナ...

000015036

◆ 概要 本文書では ID : 20147 「ゲスト VM の認証情報が空です。そのため、ホストベース VM バックアップ は VM 内からスナップショット方式を設定する VM ゲスト操作を

VMware 仮想マシンのエージェントレス バックアップ実行時にエラー コード 3033 の警告が記録される

000003552

入力して「OK」ボタンを押します。 ◆ 関連情報 警告 ID : 20147 「ゲスト VM の認証情報が空です。そのため、ホストベース VM バックアップ は VM 内からスナップショット方式



“未完了” ジョブ ステータスの追加と条件設定（1）：未完了の追加

ジョブ内でスキップされたソースがあった場合などを的確に把握

従来は、ジョブ内で警告メッセージが記録されてもジョブ全体は「完了」と表示されたため、対処の必要性に気づきにくかった

⇒ 「完了」と「失敗」の中間のステータスとして「未完了」を追加

ジョブのステータス

- ・ 「完了」 ジョブの処理中に特定の警告メッセージは出力されなかった。後続の処理は実行される
- ・ 「未完了」 **ジョブの処理中に特定の警告メッセージが出力された。後続の処理は実行される**
- ・ 「失敗」 ジョブの処理中にエラーが発生した。後続の処理は実行されない

アクション ▾ ノードの追加				フィルタ ▾ >> ▾	環境設定ウィザード
<input type="checkbox"/>	ステータス	ノード名	VM 名	! ステータス	
<input checked="" type="checkbox"/>	!	udp-svr		▽ 最新のジョブ (タスク別)	
<input type="checkbox"/>	!	win-agt		! バックアップ (フル)	
				2022/12/14 10:28:38	未完了
				▽ 最近のイベント	ログの表示

アラート通知やレポートとも連携

ジョブ アラート

- ☐ ジョブを実行できない場合
- ☒ バックアップ、レプリケーション、カタログ、ファイル コピー、リストア、または復旧ポイントのコピー ジョブが失敗/クラッシュ/キャンセル/未完了になった 場合
- ☐ バックアップ、レプリケーション、カタログ、ファイル コピー、リストア、または復旧ポイント コピー ジョブが正常に完了した 場合
- ☐ マージ ジョブが停止、スキップ、失敗、またはクラッシュした 場合

“未完了” ジョブ ステータスの追加と条件設定 (2) : 条件設定



軽微な警告に煩わされないようにするために、未完了となる条件を変更できる

以下ファイル内の警告メッセージをコメントアウトすることで、ジョブが未完了になる条件を変更

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\Configuration\IncompleteStatus.ini

```
[Warnings for IncompleteStatus]

[UNC/NFS and Nutanix Files Backups]

20029 #Skipping file [file_path]. It is part of the current backup session.
20170 #Skipped some files/directories, other than Symbolic Links/Mount Points skipped from backup. For details, refer to the backup log
file.
20402 #Unable to read file:[file_path].
20408 #Unable to read file:[file_path]. Error: [error_message].

[WRP related Warnings]

20106 #Data inconsistency found in recovery point [session_number], the next job will be converted to a verify backup job.
```

[参考 : Arcserve UDP 9.x ソリューションガイド - 未完了のバックアップ ジョブ ステータス関連](#)



Arcserve UDP コンソール レポートの強化

「バックアップ成功率レポート」の追加 – 各ノードの日次/週次/月次の成功率を確認

管理容量レポート							
バックアップ成功率レポート							
ノード名 プラン名 RPS データストア 日単位の成功 週単位の成功 月単位の成功							
udp-svr.arcserve.jp		ローカル サイト-新規	udp-svr.arcserve.jp	DS1	100.00%	N/A	N/A
win-agt		サイト2-新規のプラン	udp-svr.arcserve.jp	DS1	N/A	N/A	N/A

「ジョブステータス レポート」に日付範囲フィルタを追加

ジョブ ステータス レポート

フィルタ/アクション

ノード名

ジョブの種類

すべて

☐ 過去

☒ 日付範囲

7

日

2022/12/13

2022/12/19

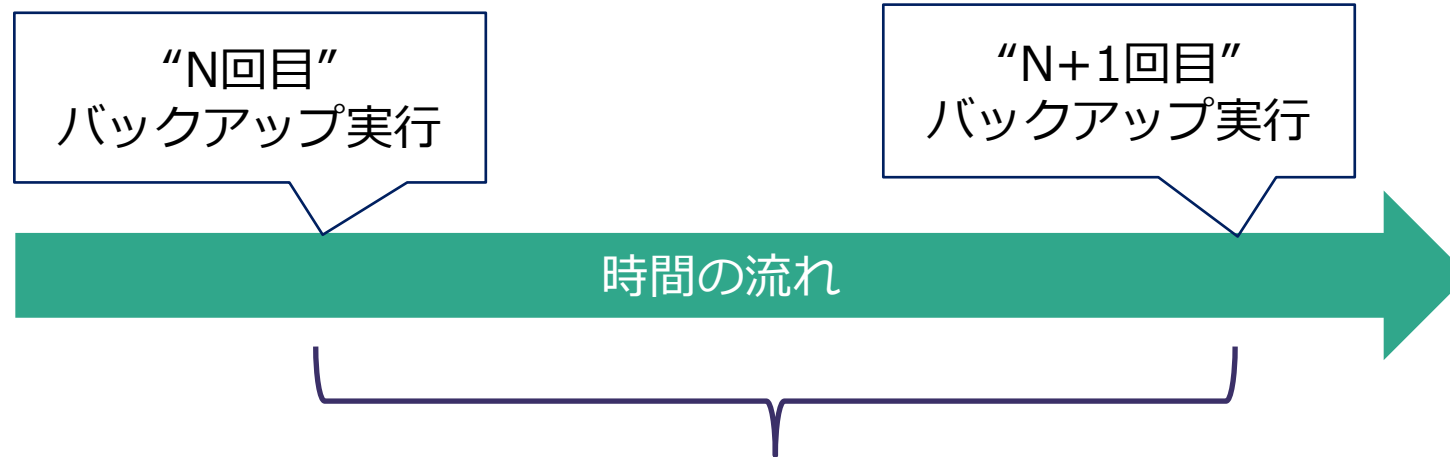


データベース バックアップの強化

Microsoft SQL復旧機能の強化：任意の時点にGUIで簡単復旧



Point-in-time (PIT) 復旧とは



この間の任意の時点に復旧可能

前提条件

- ・ バックアップ実行前に、Point-in-time を有効化する必要あり
- ・ エージェント経由でバックアップ
- ・ 2つ以上の復旧ポイントが必要




Microsoft SQL復旧機能の強化：任意の時点にGUIで簡単復旧 - 設定画面

スライダーやカレンダーで復旧したい時点を簡単に指定できます！！

その他

☒ ログの Point-in-time リストア

時点 2022/12/14 13:05:34  2022/12/14 21:58:39 2022/12/14 20 : 11 : 58

[ここをクリックすると](#) トランザクションの詳細が表示されます。

更にトランザクションの詳細も確認可能！

トランザクション詳細

i 選択した時点より前の時点にデータベースをリバースする場合は、トランザクションを選択します。

時点	トランザクション名	操作	オブジェクト	ユーザ アカウント
2022/12/14 20:58:32	TRUNCATE TABLE	LOP_BEGIN_XACT	N/A	N/A
2022/12/14 20:58:32	TRUNCATE TABLE	LOP_COMMIT_XACT	N/A	N/A

Microsoft SQL復旧機能の強化：別なインスタンスへのリストアが可能に



別の場所へのリストアが可能に、
データベースごとにインスタンスと名前を設定可能

リストア

リストア オプション

デスティネーション
リストア先を選択します。

☐ 元の場所にリストアする

☐ ダンプ ファイルのみ

☒ 別の場所にリストアする

リストア先のインスタンス名を変更することで、
クラスタ構成のリストア設定が可能

リストア

リストア オプション - 別の場所

データ ファイルをリストアするパス C:\SQL\DataBase

ログをリストアするパス C:\SQL\LOG

インスタンス名	データベース名	サイズ	FileStream 有効	デスティネーション イン スタンス名	新しいデータベー ス名	追加オプション
MSSQLSERVER01	master*	7.38 MB	いいえ	MSSQLSERVER0		設定
MSSQLSERVER01	model	16.00 MB	いいえ	MSSQLSERVER0	model_copy	設定
MSSQLSERVER01	msdb	21.31 MB	いいえ	MSSQLSERVER0	msdb	設定
MSSQLSERVER01	testdb	16.00 MB	いいえ	MSSQLSERVER0	testdb	設定

「マスタ」データベースの名前は変更できません。

Microsoft SQL復旧機能の強化：復旧方法を詳細に、事前のサイズ確認も可能



「復旧状態」の指定や「データベースの整合性チェック」など詳細な設定が可能に

リストア

リストア - ジョブ レベル オプション

復旧状態

☒ RECOVERY モード

☐ NORECOVERY モード

データベースの整合性チェック

☐ リストア後にデータベースの整合性チェックを実行する

☐ 整合性チェックが失敗した場合、リストアを失敗としてマークします。

その他

☐ リストアで強制的に既存ファイルまたはデータベースに上書き

既存のファイルは、上書きされると回復できません。

☐ リストア後、ユーザのアクセスを制限する

バックアップ中にソース データベースがすでに制限モードになっている場合、リストアされたデータベースも自動的に同じモードになります。

リストア前にデータベースのサイズを確認できる

リストア

リストア オプション - 元の場所

インスタンス名	データベース名	サイズ	追加オプション
MSSQLSERVER	master	7.38 MB	<div>設定</div>
MSSQLSERVER	model	16.00 MB	<div>設定</div>
MSSQLSERVER	msdb	21.31 MB	<div>設定</div>

arcserve®

© 2024 Arcserve. All rights reserved

20



Oracleデータベースの RMAN 対応

Windows / Linux 上の Oracle データベース を Recovery Manager (RMAN) でバックアップ/ リストア・リカバリ



Windows / Linux

エージェントレスで
データベースを保護

Point in Time, SCN,
ログシーケンスを
指定してリカバリ

アシュアードリカバリで
整合性の確認可能

※ 日本では、Oracle RAC 環境は非サポートとなります



Oracleデータベースの RMAN でのバックアップ

GUI で簡単設定、アーカイブログの削除も設定可能！

プランの追加

ローカル サイト-新規のプラン ☐ このプランを一時停止

タスク1

タスクの種類

タスク タイプの選択

バックアップ: Oracle データベース

バックアップ: ORAC または NFS バス上のフ

バックアップ: エージェントベース Linux

バックアップ: エージェントベース Windows

バックアップ: ホストベース エージェントレス

リモートで管理されている RPS からレプリ

タスクの追加

設定はプラン内のタスクとして追加

バックアップ取得後のアーカイブログ削除の
選択、チャンネル数、チェンジ ブロック
トラッキング※の利用も指定も可能

※ Oracle Database Enterprise Editionのみサポート

データベースの追加

UDP-SVR 新規データベースの追加

Oracle DB ユーザ名 ユーザ名 パスワード パスワード

保護されているアイテム*

☐ データベース (データ ファイルと表領域を含む) ☐ パラメータ ファイル ☐ 制御ファイル ☐ アーカイブ ログ

⚠ データベース アーカイブ ログ モードを有効 (ON) にする必要があります。無効化すると、バックアップ処理は失敗します。詳細については、[こちら](#)をクリックしてください。

⚠ バックアップする前にデータベースが OPEN 状態であることを確認します。

オプション(O)

☐ バックアップが成功した後、ソース データベースからアーカイブ ログを削除

☐ チャンネル番号 1

☒ ソース データベースでのブロック チェンジ トラッキングの有効化 ☐ ソース データベースでのブロック チェンジ トラッキングの無効化

ⓘ 注 この機能は、Enterprise Edition (EE) でのみサポートされています

追加 クリア

ヘルプ 前に戻る 保存 キャンセル



Oracleデータベースの RMAN でのリストア・リカバリ

リストア・リカバリも GUI で簡単実行！リストア後、任意のリカバリも実行可能

日付の選択

12月 2022

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7

今日

指定期間

0:00 - 6:00

6:00 - 12:00

12:00 - 18:00

18:00 - 0:00 (1)

データベース名: orcl

リストアするアイテム
の選択

時刻 種類 バックアップ 名前
の種類

A..	時刻	種類	バックアップ の種類	名前
✓	22:00:01	毎日	増分	

参照

CDB単位だけでなく、PDBやテーブルスペース
単位でリストア対象を選択可能

リストア後、マウントモードで起動
リストアデータから任意のリカバリを実行可能

リカバリ タイプ

☐ 復旧なし ☐ データベースの切り替え

☒ すべて復旧

☐ Point In Time

☐ SCN の終了まで

☐ ログ シーケンス番号まで

バックアップ時点、
復旧ポイント間の任意の時点へ、
不完全リカバリ

Arcserve UDP 9.x 新機能/拡張機能のご紹介



対応環境の拡張と注意事項



新対応プラットフォーム/アプリケーション

プラットフォーム / アプリケーション

- VMware vSphere 8.0, 8.0 Update1 ※1, Update2 ※2
- Nutanix AHV (AOS) 6.5.x ※3
- Nutanix Files 4.2, 4.3 ※2, 4.4 ※2
- Microsoft SQL Server 2022 (バックアップ対象および Arcserve UDP コンソールの DBとして)
- UEFI Windows ブート サーバのAzure への仮想スタンバイ サポート ※4

※1 Arcserve UDP 9.1 以降でサポート

※2 Arcserve UDP 9.2 以降でサポート

※3 Arcserve UDP 9.0 ではパッチ [P00002803](#) の適用が必要です。

※4 Azure 上では第 2 世代の VM として作成されます。



新対応プラットフォーム/アプリケーション（Linux）

Linux OS Support	OS Version	Backup Server	Backup Client	インスタントVM	BMR
Red Hat Enterprise Linux	8.8 - 8.10 ※1	○	○	○	○
	9.0 - 9.3 ※1	○	○	×	×
AlmaLinux	8.4-8.6, 8.8-8.10 ※1	○	○	○	○
	9.0 - 9.3 ※1※2	○	○	×	×
Rocky Linux	8.4-8.6, 8.8-8.10 ※1	○	○	○	○
	9.0 - 9.3 ※1※2	○	○	×	×
Oracle Linux (RHEL 互換)	8.4-8.6, 8.8-8.10 ※1	○	○	○	○
	9.0 - 9.3 ※1※2	○	○	×	×
Oracle Linux (UEKのみ)	8.2-8.6, 8.8-8.10 ※1 UEK R3 – R7	○	○	○	○
	9.0 UEK R7 ※1※2	○	○	×	×
SUSE Linux Enterprise Server 15	SP4 , SP5 ※1	△※3	○	△※3	○
Debian ※4	10.13, 11.2-11.5	○	○	○	○
Ubuntu	LTS Server 22.04	○	○	○	○

※1 「RHEL系の8.8-8.10, 9.1-9.3」「Oracle Linux UEK 8.8-8.10」「SUSE Linux Enterprise Server 15 SP5」は Arcserve UDP 9.2 以降でサポート

※2 「RHEL系の9.0」は Arcserve UDP 9.1 以降でサポート

※3 SUSE Linux Enterprise Server 15 SP4 のみサポート、SP5 は未サポート

※4 EFIファームウェアでセキュアブートが有効化された Debian 11.x を Arcserve UDP 9.2 では未サポート



注意事項

- Arcserve UDP 9.0 から、トライアル版（評価版）で Microsoft 365 のバックアップを行うにはライセンス キーの適用が必要になります。トライアル申し込み時にライセンス キーを記載した電子メールをお送りしますので、プランの作成前にライセンス キーを適用してください。

また、製品のライセンスキーでも Microsoft 365 については別にキーが発行されます。

- Cloud Console による Arcserve UDP の管理は日本では未サポートです。

Arcserve UDP 9.x 新機能/拡張機能のご紹介



価格

価格：永続（パーペチュアル）ライセンスとサブスクリプションから選択可能



エディション	サーバ単位 (Server)		ソケット単位 (Socket)	
	永久ライセンス+ 1年メンテナンス	永久ライセンス+ 5年メンテナンス	永久ライセンス+ 1年メンテナンス	永久ライセンス+ 5年メンテナンス
Advanced Edition	¥130,000 (¥143,000)	¥222,000 (¥244,200)	¥130,000 (¥143,000)	¥222,000 (¥244,200)
Advanced Edition for Nutanix	—	—	¥130,000 (¥143,000)	¥222,000 (¥244,200)
Premium Edition	—	—	¥258,000 (¥283,800)	¥438,000 (¥481,800)
Premium Plus Edition	—	—	¥386,000 (¥424,600)	¥654,000 (¥719,400)

エディション	サーバ単位 (Server)		ソケット単位 (Socket)	
	サブスクリプション1年 メンテナンス付き	サブスクリプション5年 メンテナンス付き	サブスクリプション1年 メンテナンス付き	サブスクリプション5年 メンテナンス付き
Advanced Edition	¥44,000 (¥48,400)	¥220,000 (¥242,000)	¥44,000 (¥48,400)	¥220,000 (¥242,000)
Advanced Edition for Nutanix	—	—	¥44,000 (¥48,400)	¥220,000 (¥242,000)
Premium Edition	—	—	¥87,000 (¥95,700)	¥435,000 (¥478,500)
Premium Plus Edition	—	—	¥131,000 (¥144,100)	¥655,000 (¥720,500)

エディション	容量単位 (1TB)		容量単位 (1TB)	
	永久ライセンス+ 1年メンテナンス	永久ライセンス+ 5年メンテナンス	サブスクリプション1年 メンテナンス付き	サブスクリプション5年 メンテナンス付き
Advanced Edition	¥784,000 (¥862,400)	¥1,312,000 (¥1,443,200)	¥128,000 (¥140,800)	¥640,000 (¥704,000)
Advanced Edition for Nutanix	—	—	¥128,000 (¥140,800)	¥640,000 (¥704,000)
Premium Edition	¥1,305,000 (¥1,435,500)	¥2,181,000 (¥2,399,100)	¥255,000 (¥280,500)	¥1,275,000 (¥1,402,500)
Premium Plus Edition	¥2,289,000 (¥2,517,900)	¥3,817,000 (¥4,198,700)	¥382,000 (¥420,200)	¥1,910,000 (¥2,101,000)

※メンテナンスは3年、4年もございます。インストールメディアは別売です。金額は税抜きで、括弧の中は税込みです。
※アカデミック用など記載のないライセンスは ” <https://www.arcserve.com/jp/licensing-options> ” を参照下さい。

お問い合わせはこちらから



Arcserve ポータルサイト : www.arcserve.com/jp
カタログセンター（カタログ、技術資料）

Arcserve カタログセンター

検索



Arcserve ジャパン ダイレクト（購入前のお問い合わせ）

例：「この構成に必要なライセンスを教えてください」、
「Arcserve UDP はXXXに対応していますか？」、
「XXXはサポートされますか？」



フリーダイヤル : **0120-410-116**

（平日 9：00～17：30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます）

Webフォーム : <https://www.arcserve.com/jp/about/contact/call-me/>

arcserve®

arcserve Japan合同会社

arcserve.jp

